

弊社では、グローバル市場においても足で稼ぐ生きた情報を収集すべく、充実した社内体制と外部ネットワークを構築し、多数の海外調査を実施しております。

『グローバルマーケティングラボ』では、工業市場研究所の海外調査のメニューの紹介や調査実績、各国情勢コラムを掲載しております。調査実績、海外情勢コラムは随時、更新を行っておりますので、是非、ご覧ください。

海外市場調査にご興味のある方は、TEL:03-6459-0165 又は
<http://www.global-marketing-labo.jp/contact/> までご連絡下さい。

----- WEEKLY NEWS -----

◆風力発電：日本製紙が秋田市で風力発電所の竣工式を挙（4月13日）

日本製紙は、ウェンティ・ジャパンと、合弁会社「日本製紙ウェンティ風力」を設立し、日本製紙秋田工場の隣接地に風車3基の設置を進めてきたが、設備が完成した為、竣工式を行ったと発表した。

風力発電設備は本年1月から営業運転を開始しており、発電出力は7,485キロワット（風車3基合計）である。発電した電力は、「再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）」を活用して販売するとしている。

◆電子材料：出光興産が中国で有機EL材料事業に関する会社を設立（4月12日）

出光興産は、中国における有機EL材料のさらなる需要拡大に備え、供給体制と技術支援を強化するため、中国四川省に有機EL材料事業に関する現地法人を設立すると発表した。

中国では、政府が推進するディスプレイ産業の振興政策を背景として、有機ELディスプレイ製造設備への投資が加速しており、今後、有機ELディスプレイ生産国として著しい成長が見込まれている。

新会社は出光電子材料（中国）有限公司で、資本金は8,000万人民币元（出光興産100%）、2018年度第1四半期に設立を予定している。

今後は会社設立手続きを経て、2019年度中に有機EL材料製造工場を完工し、商業生産開始を目指すとしている。

◆消泡剤：三洋化成工業の子会社が消泡性に優れたバイオエタノール製造工程用消泡剤を開発（4月12日）

三洋化成工業の100%子会社であるサンプロコは、さとうきび由来のバイオエタノール製造時に用いられ、優れた消泡性を示す消泡剤「ノプタム 300EZ」を開

発したと発表した。

バイオエタノールは、アルコール発酵時に発生する二酸化炭素ガスが原因で多量の泡が発生し、ポンプの泡かみなどさまざまなトラブルを引き起こす。このようなトラブルを解消するために消泡剤が用いられるが、泡立ち方は発酵条件によって左右され、安定的に効果がある消泡剤の設計は困難であった。

「ノプタム 300EZ」は、水分散性に優れる界面活性剤で、常に優れた消泡性を示し、温度や発酵液(糖みつ)中の不純物や酵母の状態などの発酵条件が変わっても安定した消泡性を発揮する。また、酵母の発酵作用を阻害しないといった特長を有し、ブラジルでの採用が拡大している。

三洋化成工業では、「ノプタム 300EZ」を今後ブラジルだけでなく、インド、タイなど主要なさとうきび由来のバイオエタノール生産地へ展開していくとしている。

◆繊維：東レが細繊維度と耐摩耗性を両立した高性能液晶ポリエステルモノフィラメントを開発(4月11日)

東レは、モノフィラメントとして世界最小レベルの繊維径 20 μ m でありながら、高い耐摩耗性を実現した高性能液晶ポリエステル(以下「LCP」)モノフィラメントを開発し、その製糸技術を確立したことを発表した。

同社は、細繊維化に有利な LCP 単一成分のモノフィラメントで耐摩耗性の向上に取り組み、LCP 繊維のフィブリル構造解析から、ポリマーの結晶化がフィブリル化の原因の一つであることを突き止めた。LCP は、ポリマーが結晶化することで高い強度を発現するが、結晶化の進行とともにフィブリル化しやすくなる。同社は、フィブリル化を引き起こす結晶化を制御する独自の製造プロセスを開発し、LCP の優れた機械特性を維持したまま、フィブリル化を抑制することで単一成分でも十分な耐摩耗性を実現した。

東レでは、LCP マルチフィラメントの開発にも取り組んでおり、今後は今回開発した LCP モノフィラメントを加え、スーパー繊維である LCP 繊維のラインナップを拡充していくとしている。

◆自動車部品：長瀬産業がインド大手自動車部品メーカーとの合弁会社へ追加出資(4月10日)

長瀬産業は、インドの大手自動車部品メーカー UNO MINDA グループとの合弁会社である MINDA KYORAKU の増資を引き受け、株式を追加取得し出資比率を 20% に引き上げたと発表した。

長瀬産業は、インドの大手自動車部品メーカーである UNO MINDA グループとの関係強化を進めており、2012 年にグループの中核である MINDA INDUSTRIES、キョーラクとの 3 社合弁により、ブロー製品を製造する MINDA

KYORAKU の操業を開始した。

MINDA KYORAKU では、今回の増資により、2018 年内の完成を目指しインド北西部のグジャラート州に新工場を設立する。UNO MINDA グループは、グジャラート州では、自動車メーカーの進出により自動車生産台数が 2021 年に 130 万台まで伸びると試算しており、こうした需要の取り込みによるシェア拡大を目指す。

新工場設立により、現在の年間約 20 億円の売上が、2024 年に約 43 億円となることを見込んでいるとしている。

◆海外展開:JSR のインド現地法人が営業開始(4 月 9 日)

JSR は、インド現地法人「JSR Elastomer India」(ハリヤナ州グルガオン)の営業活動を開始したことを発表した。

JSR Elastomer India は、インドを中心とした合成ゴム等エラストマー製品の営業・マーケティング活動強化のため、2017 年 12 月に設立された。資本金は 1,500 万インドルピーで、出資比率は JSR が 99%、JSR トレーディングが 1%である。

世界 5 位の自動車生産国に成長したインドで、タイヤや自動車部品向けのエラストマー製品の需要増が予想される。また、市場規模の拡大に加えて、自動車排ガス環境規制の強化を背景に、低燃費タイヤ用溶液重合スチレンブタジエンゴム (SSBR) に代表される高機能製品の需要の高まりも期待される。

JSR は、インドに現地法人を設立し、営業・マーケティング活動の現地化によって、エラストマー製品の販売拡大を図るとしている。

◆価格改定

- ・日本合成化学工業が酢酸及び酢酸塩類を 4 月 15 日出荷分より値上げ
値上げ幅は、酢酸:20 円/kg、酢酸ナトリウム(無水):25 円/kg
酢酸ナトリウム(結晶):20 円/kg、粉末酢酸:25 円/kg
- ・カネカが樹脂改質剤を 5 月 1 日出荷分より値上げ
値上げ幅は、20 円/kg
- ・宇部興産が工業薬品を 5 月 1 日出荷分より値上げ
値上げ幅は、液安(液体アンモニア):18 円/kg、液安(ボンベ):40 円/kg
安水(アンモニア水)5 円/kg
重炭安(重炭酸アンモニウム)(工業用):10 円/kg
重炭安(食添用):15 円/kg
硫安:5 円/kg、しゅう酸:30 円/kg
- ・プライムポリマーがポリエチレン及びポリプロピレンを 5 月納入分より値上げ

値上げ幅は、3 円/kg以上

- ・デンカがステン系シートを 4 月 20 日出荷分より値上げ

値上げ幅は、10 円/kg以上

- ・デンカがサーモシート BOPS を 4 月 20 日出荷分より値上げ

値上げ幅は、10 円/kg以上



株式会社 工業市場研究所

TEL:03-6459-0165 FAX:03-5408-1584

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-10 マストライフ西新橋ビル

<http://www.kohken-net.co.jp>

◆メールの設定により、読み難くなる場合がございます。ご容赦ください。

◆配信停止・ご意見・お問い合わせはこちらへ h-ikeda@kohken-net.co.jp

